

**限定デザインのキャニスター缶入り「シトロンミルクティー」をはじめ、  
人気の紅茶、クッキー缶、ティー & パスタチケットなど、お花を描いたオリジナルバッグに詰めた福袋**

## ニューイヤーズバッグ2026

**11 月 27 日（木）正午より、事前販売予約スタート**

アイビーカンパニー株式会社（本社：東京都渋谷区千駄ヶ谷／代表取締役社長 塚田龍平）が運営するアフタヌーンティー・ティールームは、“お茶のある暮らしと風景”をテーマにデザインしたキャニスター缶入りの限定紅茶やクッキー缶、人気の紅茶、ティーチケットなど詰め込んだ「ニューイヤーズバッグ2026」の事前販売予約を、11月27日（木）正午から専用サイトで開始します。



### ■“お茶のある暮らしと風景”がデザインテーマのニューイヤーズバッグ

アフタヌーンティーを代表する紅茶「アフタヌーンティーブレンド」など人気の紅茶に加えて、限定デザインのキャニスター缶入り「シトロンミルクティー」など、個性豊かな味わいのお茶を詰め込んだAfternoon Tea TEAROOMの福袋「ニューイヤーズバッグ」。紅茶にぴったりなディアマンクッキー5種を詰め合わせた「プチサンク ディアマン」や、ティールームの店内で紅茶やパスタが楽しめるティー & パスタチケットもご用意しました。“お茶のある暮らしと風景”をテーマに、庭に咲く花や植物のイラストをあしらった日常使いにぴったりなオリジナルバッグに詰め込んで販売します。詳細は、アフタヌーンティーブランドサイトにて。

### ■店舗受け取り専用サイトで、11/27～事前販売予約スタート

全国のアフタヌーンティー・ティールーム、ベーカリー、ラブアンドテーブル（表参道を除く）では、専用サイトにて、「ニューイヤーズバッグ2026」の事前販売予約を開始します。店舗により、販売方法や受け取り期間が異なりますので、詳しくはブランドサイトにて。

◆予約期間：11月27日（木）12:00PM～12月11日（木）11:59AMまで ※数量限定のため無くなり次第終了

◆受取期間：12月15日（月）から順次、各店舗の店頭にて ※店舗により、受取期間が異なります

アフタヌーンティーブランドサイト詳細ページ：<https://www.afternoon-tea.net/article/tearoom-campaign/newyearsbag2026>

**ご取材など、この件に関するお問い合わせは下記までご連絡ください。**

アイビーカンパニー株式会社 広報担当

〒151-8575 東京都渋谷区千駄ヶ谷 2-11-1

TEL 03-5412-1882 / MAIL [press@ivy-company.jp](mailto:press@ivy-company.jp) / HP <https://www.ivy-company.jp>

## 紅茶を楽しむ福袋「ニューイヤーズバッグ 2026」



### NEW

■商 品 名：ニューイヤーズバッグ

■価 格：10,000円（税込）

■商品説明：

ティータイムを気軽にお楽しみいただけるスペシャルセット。

“お茶のある暮らしと風景”をテーマにデザインした、MARI OOGO×LIGHTS DESIGNのキャニスター缶に入った限定紅茶や限定プチサンク。人気の定番紅茶、店内でご利用いただけるティーチケットやパスタチケットをオリジナルバッグに詰め合わせました。

- ・アフタヌーンティーブレンド
- ・イングリッシュミルクティーブレンド
- ・ダーズリン
- ・アッサム
- ・アールグレイ
- ・アップル
- ・ルイボスアールグレイ
- ・レモンハーバルブレンド
- ・シトロンミルクティー キャニスター缶入り
- ・プチサンク ディアマン
- ・ティーチケット（5枚）
- ・オーガニックトマトとモッツアレラチーズのトマトソースパスタチケット（2枚）
- ・オリジナルバッグ（オフホワイト）

※お茶はすべてティーバッグ7個入り

※ティーチケットとパスタチケットの有効期限は、2027年1月31日(日)まで



＜販売店舗＞ アフタヌーンティー・ティールーム、アフタヌーンティー・ベーカリー、アフタヌーンティー・ラブアンドテーブル（表参道除く）、アフタヌーンティーオンラインストア、アフタヌーンティー・ティールーム ウェブストア（楽天市場）

※店舗やオンラインストアによって、販売期間、販売方法、受取期間などが異なります。

## アートワーク

### ライツデザイン

ロゴやパッケージ、店舗、ウェブなどを手がけながら、企業と作り手の想いを言葉とデザインで形にしている。

“らしさ”がきちんと伝わるブランドづくりを大切にしている。

### 大庫真理

東京在住、イラストレーター。日常生活から着想を得たモノクロのドローイングを中心に広告、書籍、雑誌など様々な媒体に携わる。